

令和4（2022）年度 日本仏教社会福祉学会 第56回学術大会 開催ご案内 （第3報）

【大会テーマ】

「東日本大震災10年を越えて」 地域と寺院の今後のあり方

【大会日程】2022（令和4年）年11月19日（土）・20日（日）

【大会会場】宮城県 女川町まちなか交流館 女川駅徒歩3分

1：大会日程・概要

【第1日目 11月19日（土）】（会場 女川町まちなか交流館 ホール）

午前 9時00分～ 受け付け開始 於：女川町まちなか交流館 ホール

9時30分～ 東日本大震災被災者慰霊追悼供養並びに物故者法要

今回の物故者法要は、女川町仏教会がお引き受け頂いております。

於：女川町海岸広場（雨天時：女川町まちなか交流館 ホール）

10時00分～ 第56回学術大会開会式 於：ホール

10時20分～ 基調講演（公開）

「女川いのちの石碑の取り組みと今後」

女川1000年後の命を守る会 メンバーより

主宰 阿部一彦氏^{※1}

11時50分～ 昼休憩

13時15分～ シンポジウム 於：ホール

非常時の寺院と地域のつながり（支援関係）」ではなく

「平時の関係づくりの視点づくり」として

～日常からつながるために～

コメンテーター 園崎秀治氏^{※2}（オフィス園崎代表）

シンポジスト 東日本大震災に際し地域支援実践仏教者として

- ・岩手県 高橋英悟氏^{※3} 釜石仏教会事務局長
- ・宮城県 八巻英成氏^{※4} 女川町 保福寺住職
- ・福島県 馬目一浩氏^{※5} 浜○かふえ（はままるかふえ）元代表
コーディネーター 宮坂直樹氏^{※6} 浄土宗総合研究所研究員

(※1) 東日本大震災から8ヶ月後の2011年11月、女川一中の1年生(当時)64名で社会科の授業を通して考えた「津波の被害を最小限にする3つ対策案」を宮城県内外の先生方に発表。考えた夢の対策案は、「女川いのちの石碑」建立という成果につながった。

(※2) 社会福祉法人全国社会福祉協議会で、ボランティアセンターの災害担当として、災害発生時に先遣で現地入りし、支援の要否確認に入る役割を担ってきた。元社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉部全国ボランティア市民活動振興センター副部長

(※3) 曹洞宗吉祥寺住職（大槌町）大槌町生きた証プロジェクト推進協議会会長

(※4) 曹洞宗保福寺住職（女川町）発災時、緊急指定避難場所として70日間被災者を受け入れた。

(※5) 浄土宗阿弥陀寺副住職（いわき市） 浄土宗福島教区浜通り組青年会を中心にいわき市の仮設住宅等を中心に訪問移動カフェを開催した。

(※6) 浄土宗龍原寺 副住職（東京）

16時30分～ （シンポジウム終了後）日本仏教社会福祉学会総会（会員のみ）

会場：女川町まちなか交流館 於：ホール

17時10分 終了予定

【第2日目 11月20日（日）】（会場 女川町まちなか交流館）

午前 **【時間変更となりました】**

8時30分～ 受け付け開始 **女川町まちなか交流館 ロビー**

9時00分～ 研究発表会

第1分科会 於：**会議室**

9時00分～ 非常時対応から読み解く仏教ソーシャルワークの特徴

—コロナ禍のアジア諸国の活動事例のレビューを基に—

郷堀ヨゼフ（淑徳大学アジア国際社会福祉研究所）

10時30分～ 居住継続意向と人とのつながり

馬場康徳（田園調布学園大学/浦和大学/聖学院大学 兼任講師）

11 時 00 分～ 衆生利益の条件

— 『十地経』 第五地における衆生救済の実行について—

長崎 陽子 (龍谷大学)

10 時 30 分～ 藤田清「仏教カウンセリング」についての一考察

児玉 龍治 (龍谷大学文学部)

11 時 00 分から 11 時 05 分休憩

11 時 05 分～ Planetary Health と地域寺院の取り組み

—サン・パウロ宣言の視点から—

小笠原亜矢里 (武蔵野大学仏教文化研究所)

11 時 35 分～ 関東大震災と浅草寺社会事業

～“浅草寺婦人相談宿泊所”の創設を中心に～

○金田寿世 (浅草寺福社会館)

大久保秀子 (浦和大学) 石川到覚 (大正大学)

(浅草寺福社会館)・高橋知恵・渡邊智明・井手友子

・大塚明子・清水谷尚順

12 時 05 分～ 特別報告

「仏教社会的実践活動プラットフォーム(仏教プラットフォーム)」の
リニューアルと今後の活用について

藤森雄介・郷堀ヨゼフ (淑徳大学アジア国際社会福祉研究所)

被災地スタディツアー

参加申し込み済みの会員対象

【自由研究発表の終了時間に応じて出発時間の確定いたします。当日のご案内になります】

午後 13 時 30 分～ 被災地スタディツアー バスにて移動 希望者対象 (有料)

女川町、石巻市での震災遺構等を訪ねる

・女川いのちの石碑 (女川町地域福祉センター)

・みやぎ東日本大震災津波伝承館 (石巻市)

・石巻市震災遺構 門脇小学校※ (石巻市)

※入場料 600 円は各自負担

16 時 30 分～17 時 00 分 仙台空港で解散予定。(仙台駅まで電車で 30 分ほど)

2：大会申し込みのご案内

1) 大会参加申し込み、参加費について

参加費に関しては、お釣りの無いようにご準備頂きたくお願いいたします。

参加区分		事前申し込み 申し込み済みの方	大会当日受付
大会参加費 (2日間)	会員（一般）	3000 円	4000 円
	会員（協賛・実践）	2000 円	3000 円
	学生会員	無料	1000 円
	非会員（2日間参加）	4000 円	4000 円
	非会員 大学院生・学部生	1000 円	1000 円
被災地 スタディ ツアー	会員のみ（共通） 先着 20 名様まで	2000 円	当日申し込み 不可

2) 参加申し込み・参加費の支払い

参加の申し込みは、送付済みの「払込取扱票」を使用して事前にお支払いください。参加費の払い込みをもって参加受付とさせていただきます。

「被災地スタディツアー」をご希望の方は、大会参加費に 2000 円を加えてください。申し訳ありませんが先着順になりますので、定員に達した場合はご連絡させていただきます。（大会当日にご返金させていただきます）

特に、参加費の領収書が必要な方は、受付時にお申し出ください。

3：大会参加・宿泊・昼食などご案内

1) 東日本大震災被災者慰霊追悼供養並びに物故者法要

法要にご出席される場合は、9 時 20 分までに受付をお済ませください。女川町まちなか交流館から会場の女川町海岸広場までご案内いたします。徒歩 2 分ほどです。

2) 昼食について

大会両日ともに昼食の手配は致しません。女川駅前「シーパルピア女川」に複数の飲食店があります。また、大会会場裏手にはコンビニもありますので、ご利用ください。

土日は、一般観光客の方も多く飲食店を利用いたします。お時間に余裕をもってお済ませください。

3) 情報交換会について

新型コロナの感染状況も不透明であり、感染予防の観点から今年度は開催いたしません。ご了承お願いいたします。

4) 宿泊施設について（前泊をお勧めします）

大会会場、女川町の宿泊施設については、期日が迫っておりますので直接お問い合わせください。

石巻市内（駅前）にも複数のビジネスホテルなどあります。こちらに関しても恐縮ですが、各自で宿泊予約をお願いいたします。

5) 研究発表にあたっての注意事項

発表者でパワーポイントをご利用の方は、当日発表会場にて 8 時 30 分から 9 時の間に試写を行ってください。会場設置ノートパソコンは、Windows10 office2021 のソフト対応になっております。データは USB メモリーなどをご持参ください。

持ち込みのパソコンを使用する場合、接続のトラブルなどは対応いたしかねますので、会場設置のパソコンをご使用ください。

発表時間は、報告 20 分、質疑応答・討議 10 分で 1 報告は 30 分です。

当日の配布資料について

発表者で資料を配布される方は、30 部程度（書式や印刷部数の判断はお任せいたします）を当日持参してください。大会事務局では、印刷やコピーの対応はできませんのでご注意ください。

6) 交通のご案内 女川町への交通手段及び交通経路は下記の通りとなります。

・公共交通機関でのアクセス

時刻表などご確認の上、お越しくください。時間帯によっては便数が限られております。

・お車の場合 女川駅前「シーパルピア女川」の付近には町営の無料駐車場があります。

・新幹線利用

東京駅から仙台駅まで 東北新幹線「はやぶさ」利用で約 1 時間 32 分となります。

・JR 利用 仙台駅～石巻駅 30 分に約 1 本の運行間隔です

石巻駅～女川駅 1時間に約1本の運行間隔です



- ・バス利用 仙台駅前から石巻駅前まで（約1時間20分）
宮城交通が1時間に1本程度運行しています。



石巻駅前から女川駅前まで、土日の運行ダイヤは

石巻駅前発	女川駅前着	女川駅前発	石巻駅前着
9:32	10:09	9:02	9:39
11:37	12:14	10:57	11:34
14:32	15:09	13:04	13:41
16:28	17:05	15:40	16:17

- ・車利用 仙台駅でレンタカーを借りて移動も便利です。
仙台駅から女川駅前まで約1時間20分です

路上駐車はご遠慮下さい。女川駅裏や会場周辺には無料駐車場があります。



・飛行機の利用

仙台空港へは 新千歳空港 大阪（伊丹）空港 福岡空港 名古屋（中部）空港 神戸空港の便が出ております。関西圏、名古屋圏の方や九州・北海道からお越しの方は、空路が便利です。

JR 仙台空港駅から仙台駅 約 30 分 1 時間に 2～3 本の運行があります。

宮城県 女川町まちなか交流館 案内

URL <http://onagawa-machikou.com/>

女川駅より 徒歩 3 分（260 m）

女川町まちなか交流館 〒986-2265 宮城県牡鹿郡女川町女川 2 丁目 65 番地 2

（会場への直接の問い合わせはご遠慮ください）

- ※ クロークは設けておりません。手話通訳や要約筆記につきましては申し訳ありませんが実施することができません。
- ※ 託児サービスは用意しておりませんが、館内のキッズコーナーは利用できます。
- ※ 利用に際しては、館内の規定を遵守いたしますようお願いいたします。



新型コロナウイルス感染対策のご協力 お願い

ご参加予定の皆様におかれましては、感染予防のご協力をお願いいたします。

- ① 検温時 37.5 度以上の場合、大会参加をご遠慮いただきます。会場受付にて検温確認させていただきますのでご協力お願いいたします。
- ② 大会期間中は、常時マスクの着用、手指の消毒の徹底、飲食時の黙食のご協力をお願いいたします。
- ③ 今後感染状況の拡大など状況の変化がありましたら、改めてご連絡いたします。

被災地スタディツアー ご案内（お申込みの方）

第 56 回日本仏教社会福祉学会学術大会は、東日本大震災から 10 年を経て、地域と寺院の新たなつながりの可能性と仏教社会福祉活動の今後の方向性が明らかになるような大会にしたいと考え、宮城県女川町にて、対面で開催する運びとなりました。

大震災から 10 年が過ぎた現在、今一度震災を通して得た知見を振り返るとともに、地域社会の中で寺院が社会資源の一つとしてどのように平時からの取り組みを行っていく事ができるのか、被災地である宮城県女川町で、皆さんと共に考える機会となる事が出来ればと考えています。

令和 4（2022）年度 第 56 回日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会

1：被災地スタディツアーの概要

今回の学会大会が被災地である宮城県女川町での開催というご縁をいただきました。その中で大会後参加者の方を対象に、女川町、石巻市での震災遺構等を訪ねる被災地スタディツアーを企画いたしました。女川町社会福祉協議会のご協力でマイクロバスを手配していただき、被災地の取り組みや災害伝承館・震災遺構などを見学し学ぶ機会を設けました。

1) 実施日・時間

大会第 2 日目、11 月 20 日（日）、研究発表分科会終了後

※昼食は、各自でお取りください。車中での飲食もできます。

13 時 30 分 女川町まちなか交流館

ホール集合・出発予定（当日詳細のご案内をします）

2) 訪問見学先 (予定)

- ・ 女川いのちの石碑
- ・ 東日本大震災慰霊碑
(女川町地域福祉センター)



- ・ みやぎ東日本大震災津波伝承館 (石巻市)



- ・ 石巻市震災遺構 門脇小学校[※] (石巻市)



※入場料 600 円は各自負担

門脇小学校は津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構であり、避難を考えると垂直避難だけでは難しい一面があることを伝えています。

終了予定時刻 16 時 30 分～17 時 00 分

仙台空港で解散予定。(仙台駅までは電車で 30 分ほどです)

3) 解散場所について

仙台空港駅を解散場所として予定しております。仙台駅に向かわれる方は、仙台行きの電車をご利用ください。空路をご利用の方は、そのまま空港へ向かってください。

日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会

- ・主催 日本仏教社会福祉学会
- ・共催 東北福祉大学（団体会員校）
淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
女川町社会福祉協議会
- ・後援：女川町
- ・協力：女川町仏教会
- ・協力：女川町商工会
- ・協力：女川町観光協会

本大会に関する問い合わせは、下記にお願いいたします。

2022（令和4）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町 200

淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所

アジア仏教社会福祉学術交流センター長／淑徳大学教授 藤森 雄介

電話 043-265-9879 FAX 043-265-7339

メール asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

お問い合わせはできるだけメールにてお願いいたします。

※大会期間中、11月19日・20日に限り、緊急時の連絡窓口をして下記の携帯番号で対応いたします。大会前日までのお問い合わせは、上記大会連絡事務局までお願いいたします。

11月19日・20日に限り、緊急時の連絡先

学術大会女川事務局 担当：渡邊義昭 Tel : **090-6308-2402**

メールアドレス chancho@ymail.ne.jp

※留守電になることもありますのでご伝言を入れてください。

折り返し電話いたします。

地震などの災害発生時は、行政の指示に従って行動をお願いいたします。